

都城市ゼロカーボンシティ宣言

～ゼロカーボンシティ都城（みやこんじょ）チャレンジ2050～

近年、世界では、平均気温の上昇、大雨の頻度の増加、農産物の品質の低下、災害の増加、熱中症のリスクの増加など、気候変動及びその影響が各地で現れており、「気候危機」ともいわれる状況が続いています。

本市においても、強力な台風や集中豪雨による浸水被害などの気象災害が発生しており、市民生活に大きな影響が出ています。

この気候変動問題は、地球に住む私たちにとって、誰もが無関係ではなく、社会全体が一体となって取り組むべき課題であります。

また、私たち、風光り、水澄む霧島の大地に生きる都城市の市民は、市民憲章に「自然のめぐみに感謝し、豊かで美しい環境をつくりましょう。」と定めているように、市民一人ひとりがすこやかに生活できるふるさとをつくり、次世代を担う子ども達に引き継いでいかなければなりません。

そのために、本市は、地域経済と脱炭素化の両立を図るとともに、3年連続で市町村別農業産出額全国1位となった農林畜産業を核としたカーボンニュートラルモデルの構築及び官民連携による太陽光発電設備の導入促進等に取り組む必要があります。

本市は、2050年までの脱炭素社会を実現するため、「2050年までの温室効果ガス排出量“実質ゼロ”」を目指し、市民・事業者・行政が一体となって、全力でチャレンジすることを、ここに宣言します。

令和5年（2023年）3月23日

宮崎県都城市長

池田 宜永